

## 参議院契約監視委員会定例会議議事概要

開催日	平成26年1月28日(火)		
場所	参議院第二別館東棟4階 東401会議室		
出席委員氏名	委員長	筆谷 勇(公認会計士・東京都監査委員)	
	委員	阿部 哲(株式会社アイセイ薬局 社外監査役)	
	委員	木下 哲(公認会計士)	
審査対象期間	平成25年8月1日～平成25年11月30日		
抽出案件	4件		
一般競争入札	4件	契約件名	分館委員会室天井改修その他工事
		契約相手方	松井建設(株) 東京支店
		契約金額	90,720,000円
		契約締結日	平成25年9月6日
	4件	契約件名	構内情報通信網設備改修工事(13)
		契約相手方	東日本電信電話(株)ビジネス&オフィス営業推進本部
		契約金額	12,463,500円
		契約締結日	平成25年10月8日
	4件	契約件名	参議院議員会館ネットワークシステム更新に関する調達支援業務
		契約相手方	新日本有限責任監査法人
		契約金額	10,363,500円
		契約締結日	平成25年10月4日
4件	契約件名	参議院公開Webサイト環境の提供及び運用・保守業務	
	契約相手方	東日本電信電話(株)ビジネス&オフィス営業推進本部	
	契約金額	81,601,440円	
	契約締結日	平成25年10月22日	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし (対象契約は妥当なものと認められた。)		

意見・質問	回答
<p><b>1. 報告事項</b></p> <p>入札及び契約手続きの運用状況について 意見なし</p> <p>指名停止の運用状況について 意見なし</p> <p>談合状況への対応状況について 該当なし</p> <p><b>2. 抽出事案の審議</b></p> <p>A 分館委員会室天井改修その他工事 一般競争入札（総合評価落札方式） [工事]</p> <p>① 落札率が100パーセントであるが、その理由は何か。</p> <p>② 第3回においても落札者がいない場合は、どのように対応するのか。</p> <p>③ 1者応札・1者応募となった落札状況をどのように分析しているか。また、今後の対応策は何か。</p>	<p>本件は、第1回、第2回の入札では、入札価格が予定価格を上回っており、第3回の入札で落札された。結果として、第3回の入札価格が予定価格と同額になった。落札業者は、本院における同種工事の施工実績を有しており、そのことが入札結果に大きく影響していると思われる。</p> <p>通常、再度の入札は第3回まで行っているが、第3回の入札でも落札者がいないときは、応札業者の了解を得た上で、最低価格の札を入れた業者と随意契約の協議を行うこととしている。</p> <p>本工事には、防水工事が多く含まれており、その工事の性格上、新規業者が手を挙げにくいのではないかと推測している。また、消費税増税の駆け込み需要が高まった時期と重なっていたことも、入札に応じる者が少なかった一因ではないかと考えている。</p> <p>説明書を取りに来たが応札しなかった者への聞き取り調査では、配置技術者の確保が困難とのことであったことから、公告時期の見直しを行うことにより、周知期間をできるだけ確保するよう引き続き検討していきたい。</p>

④ 本件は、変更契約を行う予定はあるか。

施工中に、工事対象外の箇所において雨漏りが判明した。これに伴う追加工事を行うこととしている。

**B 構内情報通信網設備改修工事（13）  
一般競争入札（総合評価落札方式）  
[工事]**

① 低入札価格調査の結果について概要を説明していただきたい。

予定価格と入札価格の積算内訳書を比較すると、労務費の差が一番大きかった。  
当該業者は、LAN関連の構築・工事等について多数の実績を有しており、最も得意とする分野の重要事業と位置付け受注したもののことであり、価格差を含め、本院の基準に則り調査した結果、契約を締結するに支障はないと判断した。

② 労務費の工数はどのように設定しているのか。

労務費は、下見積りの人工数を参考に積算している。

③ 予定価格の労務費に過積算はなかったか。

当該業者からは、精通した技術者及び熟知した人員を配置し、効率的に業務を実施することで工数の低減を図ることができたとの説明も受けており、過積算であったと考えてはいない。

**C 参議院議員会館ネットワークシステム更新に関する  
調達支援業務  
一般競争入札（最低価格落札方式）  
[役務]**

① 総合評価落札方式ではなく、最低価格落札方式である理由は何か。

本件は、議員会館ネットワークシステム更新に関する調達支援であり、調達のための仕様書作成が主な業務である。仕様書作成について、評価項目を設定し、数値化して評価することは馴染まないもので、最低価格落札方式とした。

② 落札率が低いため、低入札価格調査を実施しているが、調査の結果はどのようなものか。

調査の結果、低入札調査対象業者は、仕様書を満たす履行体制が整えられ、他省庁での履行実績もある一方で、財務状況等の面でも特段の問題はなかったことから、履行は可能であると認められた。

③ 低入札調査対象業者が行政処分を受けていることは調査に影響はあるのか。

平成23年7月に行政処分を受けているが、改善措置後においては、その他の各種法令違反、賃金の不払い、下請代金の支払遅延等はないことを確認しており、履行に支障はないと判断した。

④ 落札者が決定した場合には、入札参加者には連絡しているのか。

開札の際に、最低入札価格が調査基準価格に満たない場合は、落札の保留を宣告している。

最低価格入札者である者を落札候補者として低入札調査を実施するが、調査の結果、履行の可否が不可となった場合には、他の者が落札者になる旨、入札公告に記載している。

調査結果次第で最低価格入札者が落札できないことは有り得るので、入札参加者には、落札の結果については、必ず連絡している。

**D 参議院公開Webサイト環境の提供及び運用・保守業務  
一般競争入札（最低価格落札方式）  
〔役務〕**

① 契約の概要はどのようなものか。

参議院公開Webサーバが5年経過し、老朽化しているため、新たな基盤の構築、Webサイトデータの移行及び保守を実施するものである。

② 予定価格の積算はどのようにしているのか。

本調達に先立ち調達支援業務を行っており、費用調査報告書を参考にして予定価格調書を作成した。

次の機器の更新時期を見据え、ライフサイクルコスト等の事情を勘案してトータルコストで積算した。

③ 落札者はどのように決定したのか。

入札は、「基盤構築」のほか、ライフサイクルコスト全体を勘案したトータルコストについて、入札価格の総額が最も低い者で予定価格の範囲内にある者を落札者とした。